

授業科目名	幼児と造形表現Ⅱ	大学名	作新学院大学短期大学部
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期（9月26日～1月30日）
学部・学科等	幼児教育科	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限（時間）	未定
標準対象年次	1 学年以上	授業形態	演習
単位数	1 単位	授業会場	作新学院大学 講義室
担当教員名	花田 千絵		
電話番号 （代表者名）	028-667-7111（大代表）	e-mail アドレス	hanada@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<授業の目標及びねらい> 領域「表現」の特に造形指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などについて実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能、表現力を身に付ける。さらに、基礎的な知識技能を活かし、実践することを想定した指導計画を立てる。 <前提とする知識・経験> 特になし <授業内容と具体的な進め方> ・動画等の資料を通して子どもの表現の姿を学ぶ。 ・身の回りの素材を活用した基礎技法を教員の実演や参考作品から学んで実践する。 ・素材研究の次の製作では、造形表現活動の指導計画を立てることを想定して自らテーマ、材料、ねらいなどを考えて製作する。 <授業計画> 第1回：表現と評価、指導計画について 第2回：基礎技法（7）ステンシル 第3回：基礎技法（8）スクラッチ 第4回：自然物素材（色水遊び） 第5回：油粘土 第6回：乳幼児の表現の発達と保育の構想（1）絵本の読み聞かせ 第7回：乳幼児の表現の発達と保育の構想（2）立案 第8回：乳幼児の表現の発達と保育の構想（3）実践 わいわいひろば連携 第9回：・乳幼児の表現の発達と保育の構想（4）振り返り ・紙漉き体験 第10回：生活素材を活かした動くおもちゃ作り 第11回：飛び出すカード 第12回：魚釣りゲーム 第13回：透明素材 第14回：段ボール素材 第15回：お弁当づくり（紙の特徴を生かして） 定期試験は実施しない。 <教科書・参考書・教材と入手方法> 教科書：コンパス 保育内容 表現（島田由紀子・駒久美子著、建帛社） 参考書：幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）、保育所保育指針（平成29年告示 厚生労働省）、幼保連携型こども園教育・保育要領（平成29年告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省） <成績評価法> 学習内容の理解度を確認する小テスト・振り返り（50%）、基礎技法ファイル（50%）。 <教員からのメッセージ> 実習で実践することを想定し、造形表現の指導計画案を考えていきます。		